

2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年8月10日

上場会社名 フジコピアン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7957 URL http://www.fujicopian.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)光本 明
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)上田 正隆 (TEL) 06(6471)7071
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	4,111	△12.5	△261	—	△166	—	△242	—
2022年12月期第2四半期	4,696	8.4	307	22.0	420	39.4	318	24.9

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 △258 百万円 (—%) 2022年12月期第2四半期 450 百万円 (39.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	△158.13	—
2022年12月期第2四半期	207.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	16,884	10,729	63.5
2022年12月期	17,823	11,136	62.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 10,729 百万円 2022年12月期 11,136 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	97.00	97.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,400	△14.7	△400	—	△320	—	△420	—	△274.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期2Q	1,789,487株	2022年12月期	1,789,487株
2023年12月期2Q	258,805株	2022年12月期	258,755株
2023年12月期2Q	1,530,710株	2022年12月期2Q	1,530,798株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響をあたえる不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関する事項については、3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、行動制限が無くなったことなどを受けて、個人向けサービス活動を中心に正常化しつつありますが、ウクライナ情勢の長期化による原材料・エネルギーコストの高止まり、世界的なインフレと金融引き締めによる景気回復の遅れや中国経済の減速から全般的に需要の低迷が続いており、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当グループの強みである、創造型企業としての技術をもとに、新製品の開発および市場の開拓を重点課題とし、多様化・高度化する顧客のニーズに対応する開発に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における販売面につきましては、中期経営計画における重点課題「新製品・新規事業の開発」に注力いたしました。上記の経済情勢を背景とした主力のサーマルトランスファーメディアやテープ類における取引先の在庫調整長期化などを受け、総じて厳しい活動を余儀なくされました。

また、生産面では、「ものづくり力・生産性の強化」を目指し、グループ全体でのコスト削減を推進し、収益改善に取り組んでまいりました。

この結果、連結売上高は、41億1千1百万円(前年同期比12.5%減)となりました。

利益面におきましては、グループを挙げた生産の効率化によるコスト削減に取り組んでまいりましたが、営業損失は2億6千1百万円(前年同期 営業利益3億7百万円)となりました。経常損失は円安にともなう為替差益の計上などがありましたが、1億6千6百万円(前年同期 経常利益4億2千万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は法人税等の計上などにより、2億4千2百万円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益3億1千8百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を除いた売上高で表示しております。

印字記録媒体および事務用消耗品関連事業は、売上高38億2千7百万円(前年同期比12.9%減)、セグメント利益(売上総利益)は6億9千7百万円(前年同期比44.3%減)となりました。

品目別売上高としましては、サーマルトランスファーメディアは、主力のバーコード用リボンを中心に拡販に努めましたが、22億8千9百万円(前年同期比7.4%減)となりました。

インパクトリボンは、市場の縮小傾向が続くなか、選択と集中にもとづく営業活動を展開しましたが、3億2千万円(前年同期比12.1%減)となりました。

テープ類は、新規取引先の開拓や既存取引先シェアアップに努めましたが、取引先の在庫調整の影響もあり、8億9千9百万円(前年同期比25.7%減)となりました。

機能性フィルムは、電子材料分野を中心とした拡販に努めましたが、1億5千1百万円(前年同期比17.8%減)となりました。

その他は、1億6千6百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

プラスチック成形関連事業は、取引先各社の需要の落ち込みから、売上高2億8千3百万円(前年同期比6.6%減)、セグメント利益(売上総利益)は8千9百万円(前年同期比15.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、168億8千4百万円(前連結会計年度末比5.3%減)と、前連結会計年度末に比べ9億3千8百万円の減少となりました。これは、主に現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものであります。

負債は、61億5千5百万円(前連結会計年度末比7.9%減)と、前連結会計年度末に比べ5億3千1百万円の減少となりました。これは、主に電子記録債務が減少したことなどによるものであります。

純資産は、107億2千9百万円(前連結会計年度末比3.7%減)と、前連結会計年度末に比べ4億7百万円の減少となりました。これは、主に利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少などにより、2億5千3百万円の支出となり、前年同期比では、4億2千8百万円の支出の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより4億7千7百万円の支出となり、前年同期比では1千8百万円の支出の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による収入があった一方で、借入金やリース債務の返済などにより1億4千2百万円の支出となり、前年同期比では5億1千5百万円の支出の増加となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、期首残高に比べ8億9千2百万円減少し、33億7千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期連結業績予想につきましては、2023年2月14日発表の数値を変更しております。詳細につきましては、本日発表しております「2023年12月期 第2四半期累計期間の連結業績予想数値と実績の差異および通期連結業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,271,498	3,378,746
受取手形及び売掛金	2,143,110	1,860,230
電子記録債権	750,278	641,497
商品及び製品	683,354	667,382
仕掛品	736,873	715,555
原材料及び貯蔵品	743,713	721,391
その他	266,258	618,607
貸倒引当金	△2,934	△2,924
流動資産合計	9,592,151	8,600,487
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,654,370	2,603,331
機械装置及び運搬具（純額）	1,704,150	1,635,781
土地	1,679,923	1,679,923
建設仮勘定	8,740	74,081
その他（純額）	301,865	302,154
有形固定資産合計	6,349,050	6,295,271
無形固定資産		
リース資産	-	421,308
ソフトウェア仮勘定	427,710	-
その他	54,966	63,388
無形固定資産合計	482,676	484,696
投資その他の資産		
投資有価証券	1,187,862	1,305,835
その他	211,658	198,595
投資その他の資産合計	1,399,520	1,504,430
固定資産合計	8,231,247	8,284,398
資産合計	17,823,399	16,884,886

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	589,289	494,836
電子記録債務	1,097,639	536,227
短期借入金	81,358	-
1年内返済予定の長期借入金	831,321	1,029,213
リース債務	10,389	71,842
未払法人税等	133,436	32,386
未払消費税等	7,800	6,640
設備関係支払手形	103,180	10,193
設備関係電子記録債務	293,978	188,958
その他	533,481	437,066
流動負債合計	3,681,875	2,807,363
固定負債		
長期借入金	1,963,834	2,102,479
リース債務	24,976	147,432
繰延税金負債	136,791	212,880
役員退職慰労引当金	226,233	232,658
退職給付に係る負債	649,607	649,125
資産除去債務	3,811	3,811
固定負債合計	3,005,254	3,348,388
負債合計	6,687,129	6,155,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,791,796	4,791,796
資本剰余金	2,995,928	2,995,928
利益剰余金	3,062,593	2,672,064
自己株式	△421,930	△422,020
株主資本合計	10,428,387	10,037,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	331,119	415,301
為替換算調整勘定	359,789	257,536
退職給付に係る調整累計額	16,973	18,526
その他の包括利益累計額合計	707,882	691,364
純資産合計	11,136,269	10,729,133
負債純資産合計	17,823,399	16,884,886

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,696,377	4,111,262
売上原価	3,343,651	3,325,626
売上総利益	1,352,725	785,635
販売費及び一般管理費	1,045,324	1,047,055
営業利益又は営業損失(△)	307,401	△261,419
営業外収益		
受取利息	75	77
受取配当金	25,552	35,670
為替差益	88,533	62,390
その他	6,833	5,938
営業外収益合計	120,994	104,077
営業外費用		
支払利息	7,757	9,475
その他	198	108
営業外費用合計	7,956	9,583
経常利益又は経常損失(△)	420,439	△166,925
特別損失		
固定資産廃棄損	4,275	7,379
特別損失合計	4,275	7,379
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	416,164	△174,305
法人税等	97,800	67,742
四半期純利益又は四半期純損失(△)	318,363	△242,048
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	318,363	△242,048

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	318,363	△242,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,910	84,182
為替換算調整勘定	84,864	△102,252
退職給付に係る調整額	957	1,553
その他の包括利益合計	131,732	△16,517
四半期包括利益	450,096	△258,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	450,096	△258,565

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失 (△)	416,164	△174,305
減価償却費	258,642	293,557
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△14,785	2,562
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,375	6,425
受取利息及び受取配当金	△25,627	△35,748
支払利息	7,757	9,475
固定資産廃棄損	4,275	7,379
売上債権の増減額 (△は増加)	△291,139	378,327
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△254,142	30,247
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,480	△639,656
未払又は未収消費税等の増減額	△1,280	6,304
その他	93,435	△52,042
小計	208,156	△167,474
利息及び配当金の受取額	25,627	35,748
利息の支払額	△7,757	△9,475
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△51,554	△112,492
営業活動によるキャッシュ・フロー	174,471	△253,694
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△374,581	△468,757
無形固定資産の取得による支出	△82,571	△70,790
投資有価証券の取得による支出	△3,832	△3,993
投資有価証券の売却による収入	-	68,060
その他	2,156	△1,855
投資活動によるキャッシュ・フロー	△458,828	△477,336
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△38,905	△75,026
長期借入れによる収入	650,000	670,000
長期借入金の返済による支出	△133,128	△333,463
リース債務の返済による支出	△5,938	△256,294
自己株式の取得による支出	-	△89
配当金の支払額	△99,406	△148,044
財務活動によるキャッシュ・フロー	372,621	△142,917
現金及び現金同等物に係る換算差額	88,586	△18,802
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	176,851	△892,751
現金及び現金同等物の期首残高	4,325,858	4,271,498
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,502,710	3,378,746

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印字記録媒体 および事務用 消耗品関連事業	プラスチック 成形関連事業	計		
売上高					
サーマルトランス ファーマディア	2,471,246	-	2,471,246	-	2,471,246
インパクトリボン	364,775	-	364,775	-	364,775
テープ類	1,209,960	-	1,209,960	-	1,209,960
機能性フィルム	184,317	-	184,317	-	184,317
その他	162,315	-	162,315	-	162,315
プラスチック成形	-	303,762	303,762	-	303,762
顧客との契約から 生じる収益	4,392,615	303,762	4,696,377	-	4,696,377
外部顧客への売上高	4,392,615	303,762	4,696,377	-	4,696,377
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	17,516	17,516	△17,516	-
計	4,392,615	321,279	4,713,894	△17,516	4,696,377
セグメント利益	1,252,995	105,902	1,358,898	△6,172	1,352,725

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印字記録媒体 および事務用 消耗品関連事業	プラスチック 成形関連事業	計		
売上高					
サーマルトランス ファーマディア	2,289,315	-	2,289,315	-	2,289,315
インパクトリボン	320,471	-	320,471	-	320,471
テープ類	899,463	-	899,463	-	899,463
機能性フィルム	151,453	-	151,453	-	151,453
その他	166,701	-	166,701	-	166,701
プラスチック成形	-	283,857	283,857	-	283,857
顧客との契約から 生じる収益	3,827,405	283,857	4,111,262	-	4,111,262
外部顧客への売上高	3,827,405	283,857	4,111,262	-	4,111,262
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	3,981	3,981	△3,981	-
計	3,827,405	287,838	4,115,243	△3,981	4,111,262
セグメント利益	697,728	89,228	786,956	△1,320	785,635

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。